

株式会社いなげや

〒190-8517 東京都立川市栄町 6-1-1
社長室 広報 TEL 042(537)5031

2021年5月7日

「SDGs推進融資」認定のお知らせ

株式会社いなげや(代表取締役社長:本杉 吉員、以下「当社」)は、株式会社三井住友銀行(頭取 CEO:高島 誠)より「SDGs 推進融資」の認定を受けましたので、ご案内申し上げます。

「SDGs 推進融資」は、融資実行時に株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所(代表取締役社長:谷崎 勝教)が、企業の SDGs に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じた SDGs 貢献への道すじ(ロジック)を分析し、SDGs の取組推進に向けたアドバイス等をご提案いただく融資です。

今回、当社は以下の事業を通じて、SDGs の目標達成に向けた貢献が期待できると評価をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

① 店舗におけるペットボトルリサイクルの促進・プラスチック包材削減・食品廃棄物削減の推進

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.2 2030 年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
	12.3 2030 年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

② “地域のお役立ち企業”として、新型コロナウイルス禍での営業継続や雇用創出、買い物弱者への食料品等の販売の実施

目標 8 働きがいも 経済成長も	8.5 2030 年までに、若者や障がい者を含む全ての男女の完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
目標 10 人や国の不平等を なくそう	10.2 2030 年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。
目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.3 2030 年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。



店頭で資源リサイクルを推進。
ペットボトルは“ボトル to ボトル”で、
循環型リサイクルを実現。



様々な新型コロナウイルス感染防止
対策を実施。地域の食を支えるインフ
ラとして、店舗の営業を継続。



移動スーパーとくし丸の事業を拡大。
買い物弱者(高齢者など)の食を支え、
地域の見守り支援も実施。

今後も引き続き、いなげやグループ全社を挙げて、「食と人を通して地域に貢献するお役立ち業」としてお客様の健康で豊かな食生活の実現に貢献し、価値ある商品、質の高いサービスを提供し、お客様から信頼され、支持されるお店づくりに取り組んでまいります。